



SL1

生成 AI による作業療法の Art & Science —感性デザイン思考と共創による新たな展開

程 子学

会津大学 名誉教授

略 歴

- 会津大学 名誉教授
- 会津大学 元副学長
- 工学博士
- 笑い療法士3級

本講演では、生成 AI の進展を踏まえ、作業療法における Art & Science の統合的発展について論じる。近年、作業療法の現場では、個別性の高い支援や生活場面に根ざした実践において、経験や勘に依存した知の継承と共有が課題となっている。第一に、AI は言語中心の処理から、空間・身体・環境を統合的に理解する空間知能へと進化しており、生活行為を対象とする作業療法と高い親和性を持つ。第二に、作業療法士・多職種・対象者に AI を加えた三者共創の枠組みを提示する。AI は意思決定を代替するのではなく、議論の整理や知識の蓄積・活用を担う第3者として機能する。第三に、Human-Engaged Computing の観点から、人間の経験・感性と AI の協調関係を整理する。第四に、共有基盤とセンサー活用により、生活場面に根ざした支援の高度化と継続的改善の可能性を示す。生成 AI は、作業療法の経験知を集合知へと拡張し、次世代へ継承する基盤となる。